

保護者の皆様へ

進路指導主事 菊川 理

令和2年度より進路指導主事となりました菊川です。どうぞよろしくお願ひします。今年度より進路に関する情報を進路/学習通信をホームページに掲載します。これを家庭での進路や学習について考えるきっかけにしてほしいと考えています。また新型コロナウイルスの影響で保護者会が中止、延期になっています。この進路通信が少しでもお役に立つことを願っています。

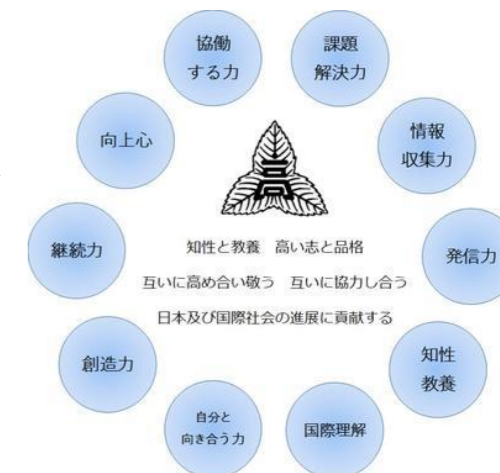
さて本校の目指す学校像として「知性と教養を身につけるとともに、高い志と品格を備え、互いに高め合い敬い協力し合う、日本及び国際社会の進展に貢献する生徒の育成」を掲げ、**教養主義と文武両道**を大きな柱としています。大学受験のためだけの勉強ではなく、すべての科目を深く学び、大学の先の将来にも生きる教養を身に付けさせて、学習のみならず部活動や学校行事などの本校でのすべての取り組みを全力で取り組むことで、その相乗効果により学力や部活動の技術などの両面が高まると考えています。この2つの柱を理念とし、次の点を基本指導方針としています。

学習・進路指導方針

- 「川口北高校で過ごす3年間すべてが進路指導」であるという認識を全職員で持つ
- 学習者として自律させる
- 新たな時代に必要となる資質（思考力・判断力・表現力）の向上を目指す

本校では「大学に合格させること」を最終ゴールとは考えていません。大学受験を通して生徒のみなさんが人間的な大きな成長を遂げる過程を支援し、社会に出て活躍する人材を育てたいと考えています。本校では他校と比べても多い学校行事でクラスや学年がまとまり、チーム川北となっていきます。また教養を大切にしているからこそ、探究活動や朝のSL-Timeでは新聞を読んで要約する活動からクラスでの発表活動に発展させます。読書をしてビブリオバトルでグループ内発表からクラス発表、そして学年から全校生徒の前での発表活動を通じて表現力を身に付けます。これからの入試には知識が問われるだけでなく、このような表現力を問う方式も多くなっていきます。また1年入学時の自学自習オリエンテーションで予習・授業・復習のサイクルを学ばせ、高校生活で最も多くの時間を過ごす、授業の型を身に付けます。2年次では3日間の自学自習の時間を設け、生徒自身が学習計画を作成し、学習者としての自律を促します。今の休校期間がまさに自分を律することが求められていると思います。3年次ではホームルーム合宿を通じて「受験は団体戦」であることを仲間と確認するとともに、自律した学習者の完成を目指します。これは受験ではもちろん、社会に出てからも必要なスキルです。学ぶことは一生続きます。高校生で「学ぶこと」を十分身に付けておけば、将来においても活躍できるはずです。そして今年度よりセンター試験が廃止となり、大学入学共通テストに変わります。そこでは従来の知識偏重ではなく、「思考力」が求められる問題となります。本校では授業、探究活動、すべての教育活動においてこの「思考力」だけでなく「判断力」「表現力」の向上を目指していきます。なお今年度合宿は中止となりました。今後も行事の見直しや中止が必要となりますが、生徒のみなさんの状況に応じて適切に進路行事をすすめていきます。

また本校ではキャリア教育推進委員会という教職員の委員会があり、以前から研究がされてきました。右の図は生徒のみなさんが**本校で身に付けてほしい10の力（KK10）**として、図に表したものです。10の小さな円の外側に、日々の授業や部活動、委員会活動、各行事、ホームルーム活動、探究活動、SL-Timeの活動などがあり、それらすべての活動を通じて10の力が身に付き、中心部の目指す生徒像へつながることを意味します。われわれ教職員一同がこれを常に意識し、日々の教育活動を行っていく覚悟です。



具体的方策

- ① ◎日々の授業を軸に、国公立大学等に合格できる学力の育成
- ② 3年間の進路指導計画を見据えた段階的な進路指導
- ③ ○キャリアブックを活用したポートフォリオや活動報告書作成の支援
- ④ 自律的学習を促す指導
 - 自学自習オリエンテーション（各学年）・学習状況調査・考査や模試の振り返り
- ⑤ 模試の分析・研究による学年・教科・教職員全体での情報共有
- ⑥ 補講や各種セミナーの充実
 - 難関大補講（セミナー）・県立大学セミナー・記述対策補講など
- ⑦ ○高い志の育成と個に応じた指導
 - 受験校検討会（年4回）・二者面談（4・9・1月）・三者面談（6・12月）
- ⑧ ◎保護者とともに入試を学んでいく体制づくり

具体的方策として上記8点をあげます。◎は新たに設定、○は既に実施されていることを明記しました。

①についてですが、本校では授業を大切に考えています。塾や予備校などの特別な学習をしなくても、授業で、国公立大学に合格できる学力や記述力を育成します。例えば多くの科目がノートやプリント等で生徒の皆さんの記述を添削する機会を多くとっています。アクティブラーニングを用いて、ペアワーク、グループワークの活動を多く取り入れ、学習内容の深い理解を促します。私立大学の多くの入試は一部を除いてマークシート方式です（入試改革で今後は記述も増える可能性はあります）。一方国公立大学は以前から、大学共通テストと個別入試の記述試験の合計で決まります（全てではありません）。休校中で教室での授業ができないのが現状ですが、Google社のClassroomという教育支援ツールを用いて、本校教員が課題の解説や授業動画などを作成し、休校中の自学の支援を模索しているところです。多くの企業が休校中無料で学習できるサイトなどを用意しています。有料で多くの予備校講師が授業をしているアプリも存在します。しかし本校では「授業で勝負」と考えているので、休校中の今も授業に変わるものを試行錯誤して配信や提示していきます。⑧についてですが最初に述べた通り、このような場で保護者の皆様と入試について学んでいきたいと考えています。また進路行事もHPなどを通じて掲載していく予定です。③のキャリアブックはそれまで教職員や学年が独自に行っていた取り組みを1冊にまとめ、生徒の皆さんが1年間の活動を振り返ることができるように、6年前から作られたものです。さらに電子上でも活動履歴がまとめられるような外部業者のeポートフォリオも活用して、入試に対応していきます。⑦も以前から行われてきたことですが、本校では生徒の皆さん一人一人と丁寧に面談し、教員との信頼関係をしっかりと作りながら、学校生活や学習、部活動を安心して送れるようにサポートしていきます。

今後とも本校の進路行事や教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。